


専門研修「子どもの発達障害」

【日時】	第1回 令和3年7月28日(水) 9:00~17:00 第2回 令和3年8月4日(水) 9:00~17:00 第3回 令和3年8月27日(金) 9:00~17:00
【会場】	CIVI研修センター秋葉原
【受講者数】	318名(第1回~第3回合計)
【講師】	・獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター 大谷 良子 氏(第1回・第2回) ・同 教授 作田 亮一 氏(第3回) ・うめだ・あけぼの学園 副園長 作業療法士 酒井 康年 氏
【研修内容】	<目的> 発達障害のある子どもに対する理解を深め、本人や家族への支援策を習得し、対応力の向上を図る。 <内容> 1 発達障害の特性と具体的な関わり方(講義) <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の特性を知る ・具体的な関わり方と支援方法 2 家族支援を考える(講義) <ul style="list-style-type: none"> ・家族の心理を理解した信頼関係の築き方 ・家族への具体的な支援のあり方とその方法 <div data-bbox="1034 1043 1342 1272" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;"><講義の様子></p>
【受講生の声】	・発達障害のある子どもについて、周囲がどのように関わればよいか、具体的な方法を学ぶことができました。 ・難しい言葉が多かったですが、その後にスライドや口頭で例を挙げて話してくださったので、今までの経験を思い出しながら理解することができたと思います。 ・医学的な視点からの専門的な知識や、講師が患者さん一人ひとりに丁寧に向き合われてきたお話を聞くことができ、とても貴重な機会でした。 ・子どものためにできることを保護者と一緒に考え、一緒に育てていく気持ちを持って関わっていきたいと思います。 ・保護者へ話をするときの伝え方や支援者としてのスタンス、注意点など、実際に現場で役に立つ具体的な話があり、分かりやすく勉強になりました。 ・講師の実際のケースの話聞きながら、「日常の中で家族を支える」ということについて改めて考えることができました。